

官報

號外

明治三十年三月十九日

金曜日 內閣官報局

第十回 貴族院議事速記錄第二十二號

帝國議會 貴族院議事速記錄第二十二號

明治三十年三月十八日(木曜日)午前十時十七分開議
議事日程 第二十二號 明治三十年三月十八日
午前十時開議

- 第一 株式會社十五銀行株式華族世襲財產ト爲スノ件法律案(政府提出) 第一讀會(特別委員報告)
- 第二 明治二十八年豫備金支出ノ件(政府提出衆議院送付)
- 第三 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第四 明治二十八年度ニ於テ國庫剩餘金ヲ以テ豫算超過及豫算外支出ノ件(政府提出衆議院送付)
- 第五 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第六 明治二十八年度特別會計豫備金支出ノ件(政府提出衆議院送付)
- 第七 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第八 明治二十八年度特別會計歲入及資金ヲ以テ豫算超過及豫算外支出ノ件(政府提出衆議院送付)
- 第九 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第十 議院法中改正法律案(衆議院提出)
- 第十一 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第十二 私設鐵道條例中改正法律案(衆議院提出)
- 第十三 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第十四 明治二十八年法律第四號中改正法律案(衆議院提出)
- 第十五 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第十六 私設鐵道條例中改正法律案(衆議院提出)
- 第十七 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第十八 登錄稅法中刪除法律案(衆議院提出)
- 第十九 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第二十 復祿及復族祿ノ請願
- 第二十一 明治七年以後戰死者遺族弔祭料下賜ノ請願
- 第二十二 地租免除ノ請願
- 第二十三 羽越鐵道第一期線ニ線上ケ敷設ノ請願
- 第二十四 清國償金ノ一部ヲ普通教育基本金ニ充ルノ請願

第二十五 古刹寺保存ノ請願 會
第二十六 拂下米下附ノ請願 會
第二十七 不正肥料販賣取締ニ關スル法規制定ノ請願 會
○議長(公署近衛篤磨君) 是ヨリ報告ヲ致シマス

昨十七日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日內閣總理大臣ヲ經由シテ裁可ヲ奉請シ及可決ノ旨衆議院ニ通知シタリ
新聞紙條例中改正法律案
豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案
同日本院ニ於テ修正議決シタル政府提出鐵道敷設法中改正法律案ハ即日衆議院ニ回付シタリ
同日本院ニ於テ修正議決シタル政府提出阿片法案ハ即日衆議院ニ送付シタリ
同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領シタリ
關稅定率法案
國稅徵收法案
同日小暮英三郎君ヨリ三十一名ノ贊成ヲ以テ國費ヲ以テ教科用圖書ヲ編纂スルノ建議案ヲ發議セラレタリ
同日久保田讓君ヨリ三十五名ノ贊成ヲ以テ普通教育ニ關スル質問書ヲ提出セラレタルニ依リ即日政府ニ轉送シタリ
拓殖務省所管事務政府委員 臺灣總督府民政局長 水野 遵君
大藏省所管事務政府委員 臺灣總督府民政局長 水野 遵君
右ノ通仰付ケラレタル旨昨十七日內閣總理大臣ノ通牒ヲ受領シタリ
本院ヨリ送付ニ係ル政府提出古刹寺保存法案ヲ可決奏上シタル旨昨十七日衆議院ヨリ通牒ヲ受領シタリ

○安藤則命君 私ハ議事ノ初ニ臨ンデ一言御斷リヲ申上置カネバナラヌコトガゴザイマス、ソレハ外ノ事デモゴザイマセヌガ前內閣ガ第六議會ニ於テ或ル縣ノ石代過剩金下戻ノ件請願ノ件ニ對シテ事ヲ曖昧ニセンガタメ本員即チ安藤ガ、明治二十一年十二月二十七日ニ旁議論ノ末餘儀ナク差出シタル進退書ニ附キ二十四字ヲ入レ筆ヲ爲シ即チ捏造シ偽文ヲ作り殊更ニ落葉版ニ摺換ヘ之ヲ己ガ說ニ利益ト爲シ當時ノ政府委員松岡元ノ內務次官タル人ガ右偽文ヲ以テ說明ノ材料ト爲シ衆議院ニ於テ公言致サレタ一件デゴザイマス右ニ附イテハ既ニ再度ノ質問ニ及ビマシタ、然レドモ己ノ爲シタルコトナレバ己ガ之ヲ明白ニ答辯ノ出來ザルモ亦道理デゴザイマス、是マデ甚ダ曖昧ナル答辯ニシテ今以テ則命ガ差出シタル原書モ示サレマセヌ、其事ハ當時ノ議事錄ニ載ツテ居リマス、尤モ此事タルヤ第一議員諸君ヲ辱メタノデモアリ又則命ガ

質問ニ對シテ贊成致サレタル方々モアツタシ旁々以テ今更默ツテ居ラレタ場
合ニナリマシタル故新内閣大臣方々向ツテ更ニ飽クマデ原書ヲ糺シ尙ホ旁々
事實ヲ確メ神聖ナル帝國議會ヲ清メ且ツ天下ノ耳目ヲ明白ニ致シタキコト
ハ則命熱心希望スルコトデゴザイマス、然レドモ何分唯今病中ノコト故彼是
當時ノ證據書類ヲ引合セテ甚ダ複雑ナル取調ヲ爲スコトガ殘念ナガラ出來兼
ネマスル故此事ハ他日ニ延バシマス、決シテ棄却致スト云フコトハ致シマセ
ヌ、茲ニ此事ヲ斷言シ念ノタメ一言御斷リヲ申上ゲ置キマス
○久保田讓君 本員ヨリ差出シマシタ質問書ニ附イテ簡單ニ理由ヲ述ベタウ
ゴザイマス
○議長(公費近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス

(久保田讓君演壇ニ登ル)

○久保田讓君 本員ハ豫算委員デアリマシテ前日來豫算委員會ニ於テ數日間
文部大臣並ニ政府委員ヲ煩ハシマシテ學政上ノコトヲ色々質問ヲ致シマシテ
ゴザイマスガ何分其要領ヲ得ナイコトガ澤山ゴザイマス其最重要ナル事
項デアツテ即チ普通教育ニ關スル三箇條ハ目下教育社會ニ於テ議論ノ熾點ト
爲ツテ居ル所ノ問題デアリマス、故ニ是非政府ノ確答ヲ得タイト考ヘマシタ
ツレ故今日此質問書ヲ提出シタ譯デアリマス、チヨット御斷リヲ申上ゲテ
置キマスガ此質問書ニアル所ノ數字ハ文部省ノ二十二年報ニ依リマシテ調ベ
マシタルデゴザイマス數日前ニ文部大臣カラ諸君ニ贈ラレマシタ所ノ年報ト
ハ少々數字ガ違ツテ居リマス併ナガラ此論據ト致シマスル大體ニ於キマシテ
ハ毫モ狂ヒハゴザイマセヌツレダケヲチヨット御斷リヲ申上ゲ置キマス先ヅ此
質問ノ要領ヲ述ベマス

小學校令ノ規定ニ依リ學齡兒童ヲシテ悉ク普通教育ヲ受ケシメサルヘカラ
サルハ國民ノ義務ニシテ亦政府ノ責任ナリ文部省第二十二年報ニ依レハ全
國學齡兒童ノ數七百三十二萬九千九百九十一人中修學者四百五十一萬八千三百
七人ニシテ不修學者二百八十八萬二千五百一十四人ナリ今や國運ノ伸張ニ伴ヒ教
育ヲ普及シテ國民ノ智德ヲ上進セシムルハ國家ノ最急要務ナリトス然ルニ
戰後ノ經營トシテ盛ニ軍備ノ擴張實業ノ發達ヲ計畫シ却テ其本源タル教育
ノ施設ニシテ之ニ伴ハサルカ如キコトアラハ國家永遠ノ富強決シテ期スヘ
カラサルヘシ政府ハ如何ナル方法ニ依リ巨多ノ不修學者ヲ就學セシメテ以
テ此ノ急要務ニ應スルノ施設ヲナサントスル乎、文部省第二十二年報ニ依
レハ全國小學校ノ數二萬四千四百六十六同生徒ノ數三百五十五萬七千七百一
十數五萬九千九百三十九同本科正教員ノ數三萬七千五百六十五即チ學級數
ニ對シ本科正教員ノ不足スル數實ニ二萬二千三百七十四人ニシテ教育上ノ
一大缺點ナリ之カ缺乏ヲ補フハ學政上焦眉ノ急務トス而シテ其缺乏ノ原因
ハ供給ノ待遇、監督ノ方法宜キヲ得サルニ歸スルカ如シ政府ハ如何ナル處
置ヲ以テ其不足ヲ補充セントスル乎、本年勅令第二號ヲ以テ市町村立小學
校教員俸給ニ關スル規程ヲ發布セラレタリ此ノ規程第六條ニ依リ俸給最低
額ヲ給與スルモ全國市町村費ニ於テ現ニ年額凡八十萬圓ヲ増加スヘシ更ニ
同規程第一條ニ依リ市町村ノ義務トナセル俸給平均額ヲ給與セントスレハ
蓋シ市町村費ニ於テ二百萬圓内外ノ増加ヲ要スヘシ況ヤ今後學齡兒童就學
ノ増加ニ伴ヒ年々教員ノ數ヲ増シ學校ノ設備ヲ加ヘサルヘカラス隨テ市町
村ノ負擔次第ニ重キヲ累スルニ至ルヘシ政府ハ國庫ノ補助無クシテ如此巨

額ノ負擔ヲ市町村ノ資力ニ一任シ能ク該規程ヲ實行シ得ヘシト信スル乎
右質問ニ及ブ
斯様ナ趣意デアリマス、ツコデ第一ハ即チ學齡兒童ノ中デ唯今マデ無學デ學
校ニ出テ居ラヌモノガ二百八十萬餘人アリマスツレヲシテ就學セシメバナ
ラヌコトデアリマスガ是ガタメニハ唯今二萬四千餘リアル小學校ノ外ニ更ニ
一萬乃至一萬五千位ノ小學校ヲ是カラ増シテヤラヌケレバナラヌ、ツレカラ
又教員ハ唯今不完全ナル教員ヲ皆合セテ凡ツ六萬程アリマス、其六萬ノ外ニ
更ニ三萬乃至四萬ノ教員ヲ増シテ行カナケレバナラヌ、ツレカラ第二ニ申述ベ
マシタル教員ノコトデアリマスガ、現在二萬二千餘人ノ小學校ノ本科正教員
ノ不足ガゴザイマス其不足ヲ補フニハ是非現ニアル府縣ノ師範學校ノ定員ヲ
増シテ、參ラヌケレバナラヌ唯今年々千二百三百人ノ卒業生ガアリマスガ少
クモ之ヲ倍ニシテ參ラヌケレバナラヌ、ツレカラ其人數ヲ増スバカリデハ矢張
困ルノデアリマス、唯今ノ小學教員ノ有様ガ如何デアルカト云フト諸君ノ御
承知ノ如ク其俸給ハ僅ニ月俸十圓内外ノ全國ノ平均デアツテ甚ダ其俸給ガ少
ナイ、ツレカラ又名譽ノ待遇ト云フモノモ甚ダ他ニ比シテ宜シクナイ、ツレ故
ニ教育社會ニ居ルコトヲ好マズシテ他ニ利益ノアル又名譽ノアル方ノ他ノ社
會ニ教員ガ皆出テ行クト云フ有様デアリマス、左様致セバ徒ニ教員ノ數ヲ増
シテモ亦他ノ社會ニ出テ行クト云フコトニナルデアリマスカラ是非此俸給
ヲ高クシ且ツ名譽上ノ待遇ヲ厚クスルコト云フコトガ必要デアラス、即チ今日デ
モ教員ハ官吏ト同一ノ待遇ヲ爲スト云フコトニ爲ツテ居リマスガ一方ニ向ッ
テハ服務規律デアアルトカワレカラ商業ヲ營ムコトハナラヌトカ或ハ政談ヲ爲
スコトハナラヌデアアルトカ云フヤウナコトハ官吏ト同一ナ取締リハアリマス
ルガ一方ノ恩典ニ屬スル方ノ勳章ヲ賜ハルコトデアアルトカ位階ノ制デアアル
トカサウ云フコトハ教員ノ方ニハ及ンデ居ラヌデアアル願クハ政府ニ於テモ
左様ナル獎勵ノ方法ヲモ矢張教員ニ適用セラレレコトニナツテサウシテ教員
ガ喜ンデ此教育ノコトニ從事スルコトニナラヌケレバ徒ニ數ガ殖エタバカリ
デハ尙ホ復タ足リナクナツテシマフコトニナラウト思フ、今一ツハ文部省令
デ學級ノ編制法ト云フモノガ出テ居リマシテ一學級ニハ必ズ正當ナ、正確ナ
教員ヲ一人ヅ、置カナケレバナラヌト云フコトガ極ツテ居ル、然ルニ教員ノ
不足ナルガタメニ一學級ニ不完全ナル所ノ教員ガ矢張据ヘテアルノデツレハ
不完全ナル教員デアリマスカラ隨テ俸給モ廉イ、ツレデ町村ハ好シデ其正教員
ヲ入換ヘルコトヲシナイ、是ニ於テ政府ガ此監督ヲ嚴重ニシテ其學級編制法
ト云フモノヲ履行シテサウシテ正教員ニ學級ヲ持タセルト云フコトヲ務メナ
ケレバナラヌ、斯様ナコトデアアル、ツレカラ第三ノ教員ノ俸給令ト云フモノ
ヲ履行致シマスルト是ガタメニ二百萬圓内外ノ町村ノ教育費ヲ増サナケレバ
ナラヌ、斯様ナ次第デアリマス、此三箇條ヲ満足シ實行シテ參ルニハ大ニ國
庫ヨリ補助金ヲ支出致シテサウシテ其町村ノ經費ヲ助ケルコト云フコトデナケ
ラネバ進モ此結果ヲ求メルコトハ出來マセヌ、現在小學校ハ全國凡ツ千萬
圓近イ費用ヲ使ツテ居ルデアリマス、サウシテ其費用ハ何處カラ出テ居ル
ト云フト概ネ市町村ノ支辨ニ屬シテ居ルデアリマス今後更ニ此小學教育
ヲ擴張スルト尙ホ千万圓内外ノ費用ヲ要スルコトニナルデアリマスツレデ
今ヤ町村ハ既ニ其自分ノ力ノ及ブダケノ金ヲ出シテ居ルデアアル、町村費ガ
全體デ二千餘萬圓アリマシテ其中カラシテ千万圓近クノ金ヲ教育ニ出シテ居

ルノデアルカラシテ既ニモウ相當ノ力ヲ盡スダケハ盡シテ居ル即チ百分ノ五
十以上町村費ヲ教育ニ出シテ居ル者ガ多イ、ソレカラ府縣ハドウデアアル、府縣
モ又相當ノ費用ヲ出シテ居ル、府縣ノ費用ノ百分ノ七バカリハ矢張教育ノ費
用ニ出シテ居ル、唯獨リ國庫ノ……國庫ノ教育費ニ費ヤス費用ハ甚ダ少ナ
ノデアアル、文部省ノ當年ノ經常費ハ凡ソ二百萬圓デアアツテ經常歳出ノ總額ニ
較ベマスレバ百分ノ一、八デアアルソウシテ其海軍陸軍ノ軍事費ガ國家ノ歳出
ノ大半ヲ費ヤシテ居ル殊ニ陸軍ハ教育費ノミ、陸軍ノ教育ノ費用ノミデ百八
十萬圓モ使ツテ居ル、文部省ハ全國ノ教育ノタメニ二百萬圓デアアツテ陸軍省
ハ陸軍ダケノ教育ノタメニ百八十餘萬圓費ヤシテ居ル、實ニ權衡ヲ得タコト
デハナイト思フ、抑、教育ガ普及ヲ致シマシテ國民ノ全國ノ人ノ道德知識ト
云フモノガ進歩致サナシナラバ政治デモ經濟デモ外交ノコトデモ軍事デモ
其他國家百般ノコトガ一ツモ良イ結果ヲ得ルコトハ出來ヌ是ハ明デアアル、國
家ノ富強ヲ期スルト云フヤウナコトハ到底期スルコトハ出來ナイ、ソレ故ニ
歐米文明ノ諸國ガ競フテ巨額ノ國庫ヲ費シテサウシテ此教育ノ普及ト云フコ
トニ汲々トシテ居ルノハ蓋シ偶然デナイト思フデアリマス、サウシテ其結
果トシテハ獨逸ナドデハ百人ニ附テ九十五人餘、學齡百人ニ附テ九十五人
餘、學ニ就イテ居ルト云フヤウナ有様デアアル、ソレカラシテ徵兵検査ノ時ノ
調べ見レバ千人ニ附テ凡ソ三人無學ノ者ハ千人ニ附テ僅三人位シカナ
イトゴフマデニ教育ガ行届イテ居リマス、ソレデ今其一例ヲ申シマスレバ歐
羅巴ノ諸國ニ於テ軍事ノ費用ト行政ノ費用トハ軍事ノ費用ノ最多イ所デア
テ大概軍事費ニ千萬圓出テ居レバ行政費用ニ千萬圓出テ居ルヤウナ鈞合ニ
ナツテ居ル寧ろ其行政ノ費用ノ多イ所ガ多イデアリマス、又其行政ノ費用
中デモ教育ノ費用ト云フモノハ行政費中デモ最多イデアアル尤モ多イデア
ル、殊ニ佛蘭西獨逸ナドハ、教育費ガ最多イコトデアリマス、ソレデ一番文部省ガ
海軍ノ次ニハ文部省ノ經費ガ一番多イコトデアリマス、ソレデ一番文部省ガ
多イ、行政費ハ普魯亞デアハ行政費ノ百分ノ五、八ト云フコトデアリ佛蘭西デハ
百分ノ八ト云フコトデアリ、サウシテ文部省ハ各省中デ經費ガ一番多
イ、内務省ヨリ大藏省ヨリ司法省ヨリ此文部省ノ經費ガ教育ノ經費ガ一番多
イノデアアル、ソレハ佛蘭西モ獨逸モ其通デアリマス、サウシテハ二千二百萬圓
餘ノ小學補助費ヲ出シテ居ル、一ハ三千八百萬圓餘ノ小學補助金ヲ出シテ居
ル、サウシテ町村ノ教育費ノ大半ヲ政府デ國庫補助ケテ居リマス、其外歐羅
巴諸國デハ大概斯様ナ有様ニナツテ居ルデアリマス、デ我國ノ軍事費ノ如
キハ本年度ハ歳出總額百分ノ五十五、行政費ハ百分ノ三十二デアアル、教育費
ハ如何デアアル、教育費ハ行政費中ノ百分ノ二餘ニナツテ居ル、サウシテ我
國ノ各省デ申スト、文部省ハ一番少ナイデアアル、大藏省內務省司法省トハマ
ルデ位ガ違ツテ居ル、一番少ナイノデ、誠ニ彼我ノ顛倒シテ居ルコトハ極ク
明瞭ナ譯デアアルノデアリマスサウシテ小學補助金ハ何程出テ居ルカト云フト
小學校ノ教員ノ年功加俸ト云フモノガアツテ、僅ニ三十餘萬圓出テ居ルバカリ
デアアル、斯ノ如キ有様デアリマシテサウシテ頻ニ此戰後ノ經營ト云フコトヲ
唱ヘテ、サウシテ各國ト對峙スルヤウナコトヲ計畫シテモ速モソレハ出來ル
コトデハナイ、抑、本末輕重ヲ誤ッタコトデアラウト思フデアリマス、茲ニ
一ノ美談ガアルノデアリマスガ獨逸ト佛蘭西トノ戰爭ノ時ニ獨逸ガ戰爭ニ
勝ッタ時ニ、獨逸國民ガびすまると、もるとげニ向ツテ戰爭ノ大勝利ニナツ

タコトヲ感謝ヲシタ、所ガびすまると、もるとげハソレハ我々ノ功デハナイ
國民ノ愛國心ト云フモノガ非常ニ盛ンデアアツタ故ニ勝ッタデアアル、ソレデ國
民ハ宜ク小學校教員ニ向ツテ感謝ヲスルガ宜イト云フコトヲ申シタ、是ハ誠
ニ其美談トシテ傳ヘラレテ居ルノデアアル、然ルニ我國ノびすまると、もると
げハ小學教員ニ向ツテ感謝セザルノミナラズ、一向ニ教育ニ向ツテ甚ダ冷淡ニ
シテ、口ニハ教育ノコトヲ頻リニ唱ヘルト雖モ教育ノ實ヲ舉グルト云フコト
ハ少シモ務メテ居ナイト私ハ斷言スルノデアリマス、現內閣ノ諸公殊ニ松方
大臣ハ屢々此議場ニ臨ンデ教育ヲ大イニ擴張スルト云フコトヲ言ハレマシタ、
併ナガラ本年ノ豫算ニ於テハドウ云フコトガ現ハレテ居ルカト申スト普通教
育ニ關シテハ地方視學ト云フモノガ僅ニ六萬三千圓アルノミデアアル、普通教
育ノ問題ト云フモノハ本年ノ豫算ニハ是ダケホカナイ、併シ又其他ノ實業ノ
コトナドハドウデアアル、中ニ澤山ナ案ガ出テ居ル此頃モ頻リ出マスデアリマ
スガ、遠洋漁業獎勵デアアルトカ生絲輸出ノ獎勵デアアルトカ、ソレカラ山林ノ
法律案デアアルトカ、蠶種ノ検査デアアルトカ種々ノコトガ澤山出テ居ル、之ニ
反シテ法律案トシテノ教育案ト云フモノハ一モナイノデアアル、右様ナ次第
アリマスカラシテドウモ甚ダ權衡ヲ得テ居ラヌ、ソレデ本員ガ質問致ス所
ノ三箇條ハ教育上ノ尤モ重要ナ問題デアリマシテ、之ヲ實行致シテ參ルニハ
餘程ナ費用ヲ要スルコトデアアル、大ニ二國庫カラシテ補助金デモ出サナケレ
バ連モ出來ル事柄デハナイノデアリマス、內閣ノ諸公及文部大臣ハ如何ナル
卓見ヲ以テ、又大イナル計畫ヲ以テ唯今質問ニ及ンダ所ノ三箇條ヲ處置セ
ラル、コトデアリマス、十分明ニ答辯アラント希望スルノデアリマス、
尙ホ終リニ臨ンデ一言申述ベテ置キマスガ、此問題ハ隨分大キナ問題デア
テ、普通教育ノ問題ト云フモノハ歐羅巴ナドデハ隨分國務大臣ノ進退ニモ關
係スル程大キナ問題デアアルガ、我國デハ實ニ冷澁ニ看過サレテ居ルガ、是
ハ非常ニ大キナ問題デアアル、ソレデ政府ハ大イナル御計畫ガアレバ明ニ其計
畫ヲ承ハリタイノデアアル、若シ然ラズシテ唯申譯一邊ノ答辯デアラナラ私
ハソナナ答辯ハ承ハリタクナイ、唯何レドウカスル何レ教育ハヤル積デア
ルト云フヤウナ御答辯ナラ文部大臣カラ度々承ツテ居ルニ依ツテ左様ナ御答
ナラ承ハルニ及バヌ、ソレデドウカ十分御計畫ガアルナラバ其御答辯ヲ承ハ
リタイノデアリマス、聊カ理由ヲ申述ベテ置キマス
○議長(公曾近衛篤磨君) 是ヨリ開議ヲ開キマス、第一株式會社十五銀行株
式華族世襲財產トナスノ件法律案政府提出第一讀會ノ續特別委員長報告

(公曾德川家達君演壇ニ登ル)

○公曾德川家達君 委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報道ニ及ビマス、一昨十六日
正副委員長ノ互選ヲ致シマシテ翌日委員會ヲ開キマシタ、質問ヲ終リマシタ
上大體ノ討論ニ移リマシタ、其審查ヲ致シマシタ結果ハ諸君ノ御手許ヘ上
テ置キマシタ通ノ次第デゴザイマス、委員長ニ於キマシテ贊成論者ノ說ハ諸
君モ疾ニ御承知ノ通此十五銀行ト申スモノハ此法案ノ理由書ニモ掲ゲテゴザ
イマス通華族ノ祿券カラ成立ッタ銀行デアアル故ニ輿論ニハ華族ノ世襲財產ト
爲スコトヲ得ルト云フ規定ガナクテハナラヌト云フ理由デゴザイマス又委員
中反對論者ノ說ハ十五銀行ノ株式ヲ世襲財產トスルト云フコトニハ反對ハ致
サヌケレドモ特ニ十五銀行バカリニ許スト云フノハ不公平ダ他ニモ色々銀行

ガアルカラ其銀行ノ方ニモ許シタガ宜カラウト云フ論デゴザイマシタ、併シ
委員會ニ出席ヲ致サレマシタ委員六名ノ内、反對論者ガ一名デ賛成論者ガ五
名デゴザイマス、斯ノ如キ大多數ヲ以テ委員會ハ可決スベキモノト認メタ
デゴザイマス、是ダケ御報告致シマス、登壇ヲ致シマシタ序ニモウ一言申上
ゲテ置キマス、此法案ハ委員會デハ唯今ノ連ベマシタ通ノ理由デ可決ニ相成
リマシタ、此明治十九年四月二十八日勅令第三十四號デ第三條ノ規程ニゴザ
イマシタ通此十五銀行ノ株式ヲ華族ノ世襲財產ト爲スコトヲ得ルト云フ規程
ガナクナリマスルト、十五銀行ノ株式ヲ世襲財產トシテ居ル華族ノタメニハ
非常ノ關係ヲ生ズルト存ジマスカラ、固ヨリ此事ハ諸君ガ能ク御承知デゴザ
イマスカラ、本員カラ申述ベマス必要ハゴザンセヌガ、何卒滿場ノ御賛成ヲ
得マシテ委員會ノ決議ノ通ニナルコトヲ切ニ希望致シマス、併テ此法案ハ簡
單デゴザイマスカラ三讀會省略ノ說ニ御賛成アラントコトヲ希望致シマス
○子爵會我祐準君 チョット委員長ニ御尋致シタウゴザイマス、何デゴザイ
マスカ、委員ノ一人ノ論ゼラレタト云フ他ノ銀行ヲ十五銀行ノ如クシタイト
此案ニ就イテハ異存ハナイガ、他ノ銀行ニモ十五銀行ノ如クシタイト云ハレ
タト仰シヤイマシタガ、他ノ銀行ト云フノハ華族ガ役人デモシテ居ル銀行ニ
限ルト云フ條件デモ附イテ居リマスカ
○公爵德川家達君 今日ハ不幸ニシテ其反對ヲ唱ヘラレタ御方ハ御缺席デゴ
ザイマスカラ、本員カラ詳シク申上ゲテモ御分リニナリマスカ、其反對論者
ノ說ハ……

○子爵會我祐準君 宜シウゴザイマス
○公爵德川家達君 ソンナラ述ベマセヌ
○名村泰藏君 唯今委員長カラ述ベラレマシタ通ニ讀會省略デ述ニ御決議ニ
ナラントコトヲ希望致シマス
○西村亮吉君 賛成
○子爵新莊直陳君 賛成
○菊池大麓君 賛成
○蟹江史郎君 賛成
○中島永元君 賛成
○南郷茂光君 賛成
○山田莊左衛門君 賛成
○男爵中川與長君 賛成
○伯爵上杉茂憲君 本員ハ内閣員ニ質問シテ見タイト思ヒマスガ、宜シウゴ
ザイマスカ
○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス

○伯爵上杉茂憲君 抑、十五銀行ト申スモノハ是マデノ所デハ他ノ銀行ト違
ヒマシテ、營業上ノ事モ確實デモアリマスシ、又一方ニハ政府ヘ買上ゲ等ノ
コトモアリ、別段政府ノ方デモ都合モセラレマシタアリマシタコトデアリマ
ス、就キマシテハ世襲財產ト申シテ、世襲財產ニ許サレマシタモ、ソレダケ
ノ値打ハ屹度アルモノカト考ヘマス、然ルニ此度國立銀行ガ變ジマシテ、普
通ノ株式會社私立銀行ト相成リマシタ以上ニハ、先ヅ是マデノ振合ヲ以テ成
ルタケハ營業上ノ事ハ手堅ク致スヤウナ經畫デモアラウカト考ヘマスケレド

モ、是マデノ所デハ株主德義上ノ規約等ノコトモアリマシテ、華族外ノ者ハ
株主等ニ入レルコトハ致サヌト云フヤウナコトモアリマシタガ、最早是連モ
今日ハ其邊ノ規約モ破レテ參ツタヤウデアリマスガ、況シテ矧ンヤ此度私立
銀行ト爲リマシタ以上ハ續々華族外ノ者モ這入ツテ參ルダラウト思ヒマス、
從ツテハ行ミノ所營業上ノ事ニ於キマシテモ投機等ノ事ヲ致スト認メルカ、
是マデノ如ク手堅イ事デハ參ラヌヤウナ事モアリマセウカト考ヘマス、然ル
ニソレハ是マデノ成立ハ祿券ヨリ拵ヘタ銀行デアリマスニ依ツテ、引續イテ私立銀
行ト相成ツテモ、華族世襲財產ト爲スコトヲ得セシムルト申ス御見込ノ立
マシタ要點ト申シマスルハ、別段二十五銀行ニ於キマシテ其後ノ所モ政府ヨ
リ別段ナ御補助デアリ、何時マデモ危カラザル銀行ニシテ遺ルゾト云フ御見
込ノアルコトデアリマセウカ、如何デアリマセウカ、左モアリマセヌト云フ
ト、徒ニ世襲財產トスルト云ウテ見マシタ所ガ、今後ノ營業上ノ事ニ於キマ
シテ危キ事ガアルヤウナコトガ出來致シテハ、一向世襲財產ト致シタケノ
效モナカラウカト考ヘマスガ、其ノ邊ノ所ハ政府ノ見込マレル所ハ何レノ所
デゴザイマスカ一言ドウゾ御答辯ヲ煩ハシマス
(政府委員神輿知常君演壇ニ登ル)

○政府委員(神輿知常君) 唯今ノ御尋ニ御答ヘ致シマスガ、ソレマデニチ
ヨット申上ゲルコトガゴザイマス、此表題デゴザイマスガ、表題ニ株式會社
第十五銀行株式華族世襲財產云々トゴザイマスルガ、此「第一」ノ字ハ誤リデ
ゴザイマス、株式會社十五銀行トスウ續キマスノデ、左様ニ御承知ヲ願ヒマ
ス、ソレカラ唯今ノ御質問ニ對シマシテハ政府ガ此銀行ノ繼續後ノ株式華
族世襲財產ニスルコトヲ得セシムルニ就イテハ普通銀行ト爲ツタ後デモ特別
ノ保護デモスルカト云フ、ドウ云フ意思デ此銀行ダケヲシタカト云フ御問ノ
事ト承知シマシタガ
(伯爵上杉茂憲君左様デゴザイマスト述フ)

此銀行ハ御尋ノ如ク繼續後ハ普通ノ銀行ニナリマスノデゴザイマス、從テ特
別ノ監督ハ致シマセヌデゴザイマス、又特別ノ保護ト申スモノモゴザイマセ
ヌ、普通ノ銀行條例ノ銀行ヲ管理スル法規ニ從ツテ監督ヲスル、併ナガラ此
銀行ガ堅固デアルカ、不堅固デアルカト云フコトニ就キマシテハ先ヅ堅固デ
アラウト政府ハ認メテ居リマスノデ、ソレハ新ニ立チマスル銀行トモ異リマ
シテ既ニ永年來ノ經驗モゴザイマス、從ツテ花主モゴザイマス、致シマスル
故ニ他ノ堅固ナル銀行ト劣ラズ堅固ナル銀行ニナルデアラウト認メマシタ居
マスルコトハ居リマスルノデ、而シテ之ヲ特ニ他ノ銀行ニ異ツテ許スハ如何
ト云フコトニ就キマシテハ先日モ申述ベマシタヤウニ此銀行ノ歴史ソレカラ
目下ノ有様ガ既ニ十八萬株ノ内始ト十一萬株ハ華族ノ世襲財產等ニナツテ居
リマスル有様デゴザイマシテ先ヅ三分ノ二少シ弱デゴザイマス、三分ノ二ハ
華族ノ有ニナツテ居リマスル株デモゴザイマス故ニ此銀行ノ歴史ト現今ノ有
様トニ對シマシテ且ツ此年ノ五月ガ最早滿期ニナリマスルカラシテ此銀行ハ
差當リ繼續後ノ株式華族世襲財產トスルコトヲ得セシムルコトガ適當ト認
メマシテ提出致シタ案デゴザイマス
○男爵西五辻文仲君 チョット本員モ質問致シタイ、此世襲財產ニシテアル
モノニ對シテ本員ハマダ調ベテ見マセヌガ家資分散ト云フコトノ宣告ハ與ヘ
ラル、デゴザイマスカ、ソレハドウ云フ……

〔子爵曾我祐準君「問題外」ト述フ〕

○政府委員(神輦知常君) 華族世襲財產法等ニゴザイマスル通其者ニ依リマシテ其利子ノ三分ノ一ハドウトカ云フ規定ガ世襲財產法ニゴザイマス

○男爵西五辻文伸君 サウスルト三分ノ一ヲ債權者ニ拂ツテ其三分ノ二ト云フモハ……

○政府委員(神輦知常君) ソレハ金ガ足ラナイ場合ハ身代限ナドヲ致シテ、ソレガ拂ヒマセヌ場合ニハドウ云フコトニナルカト云フコトハ即チ此華族令ニゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレハ本案ニ關係ガナイデハゴザイマセヌカ

○政府委員(神輦知常君) 何ナラ此處ニ取寄セテゴザイマスカラ御覽ニ入レマセウ

○男爵西五辻文伸君 世襲財產ノコトニ就イテ伺ッタノデゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 議會省略ニ定規ノ賛成ガゴザイマスガ議會省略ニシテ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシ「ト呼フ者アリ」〕

ソレデハ議會ハ省略ニナリマシタ、次ニ本案ハ可決ト認メテ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシ「ト呼フ者多シ」〕

然ラバ本案ハ可決確定致シマス、次ハ日程第二ヨリ第九マデ併テ議事ニ付シマス、第二明治二十八年年度豫備金支出ノ件、政府提出、衆議院送付、會議第三右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉、第四明治二十八年年度ニ於テ國庫剩餘金ヲ以テ豫算超過及豫算外支出ノ件、政府提出、衆議院送付、會議第五右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉、第六明治二十八年年度特別會計豫備金支出ノ件、政府提出、衆議院送付、會議第七右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉、第八明治二十八年年度特別會計歳入及資金ヲ以テ豫算超過及豫算外支出ノ件、政府提出、衆議院送付、會議第九右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉、是ダケヲ會議ニ付シマス

〔伯爵大原重朝君發言ヲ求ム〕

○議長(公爵近衛篤磨君) チョット御待下サイ、通牒文ノ朗讀ヲ致サセマス

〔阪本書記官朗讀〕

明治二十八年年度豫備金支出ノ件

明治二十八年年度ニ於テ國庫剩餘金ヲ以テ豫算超過及豫算外支出ノ件

明治二十八年年度特別會計豫備金支出ノ件

明治二十八年年度特別會計歳入及資金ヲ以テ豫算超過及豫算外支出ノ件

右本院ニ於テ承諾スヘキモノト議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十年三月十六日

衆議院議長鳩山和夫

貴族院議長公爵近衛篤磨

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス〕

一明治二十八年年度豫備金支出總計算書

貴族院議事速記録第二十二號 明治三十年三月十八日 議事日程自第二至第九 會議

一明治二十八年年度ニ於テ國庫剩餘金ヲ以テ豫算超過及豫算外支出ヲナシタル總計算書

一明治二十八年年度特別會計豫備金支出總計算書

一明治二十八年年度特別會計歳入及資金ヲ以テ豫算超過及豫算外支出ヲナシタル總計算書

右憲法第六十四條第二項ニ依リ承諾ヲ求ムル爲勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治三十年二月一日

- | | |
|---------|---------|
| 内閣總理大臣兼 | 伯爵松方正義 |
| 大藏大臣 | 伯爵西鄉從道 |
| 海軍大臣 | 伯爵大隈重信 |
| 外務大臣 | 子爵榎本武揚 |
| 農商務大臣 | 子爵高島綱之助 |
| 拓殖務大臣兼 | 子爵樺山資紀 |
| 陸軍大臣 | 子爵野村靖 |
| 內務大臣 | 子爵清浦奎吾 |
| 逓信大臣 | 侯爵須賀茂韶 |
| 司法大臣 | 侯爵須賀茂韶 |
| 文部大臣 | 侯爵須賀茂韶 |

○伯爵大原重朝君 此特別委員ハ定數ニシテ議長ノ指名ヲ請ヒマス

○子爵本莊壽臣君 贊成シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 大原伯爵ノ委員ハ……

○伯爵大原重朝君 九名デ宜シウゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 九名デ議長ニ依託スルト云フノデ……

○伯爵大原重朝君 皆同一ノ委員ニ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 大原伯爵ノ動議ニ御異議ガナクバ其通致シマス

〔異議ナシ「ト呼フ者アリ」〕

次ハ議院法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會、是モ通牒文ヲ朗讀致サセマス

〔阪本書記官朗讀〕

議院法中改正法律案

右本院提出案及送付候也

明治三十年三月十三日

衆議院議長鳩山和夫

貴族院議長公爵近衛篤磨

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス〕

明治二十二年法律第二號議院法中左ノ通改正ス

第一條ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ臨時議會ハ此限ニ在ラス

第三條 衆議院ノ議長副議長ハ其ノ院ニ於テ選舉シ之ヲ奏上シテ裁可ヲ請フヘシ

議長副議長ノ裁可セラル、マテハ書記官長議長ノ職務ヲ行フヘシ

第十五條 削除

第二十五條 各議院ハ其ノ決議又ハ政府ノ要求ニ依リ議會閉會ノ間委員ヲ設ケ議案又ハ必要ノ事項ヲ審查セシムルコトヲ得

第二十六條 中第二項ノ但書ヲ左ノ如ク改ム
但シ他ノ議事緊急ヲ要スルトキハ議院ノ議決ヲ以テ之ヲ變更スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ政府ニ通牒スヘシ

第二十八條 法律ノ議案ハ委員ノ審查ヲ經スシテ議決スルコトヲ得ス但シ政府ノ要求又ハ議院ノ議決ニ依ルモノハ此ノ限ニ在ラス

第三十三條 中第一項ヲ左ノ如ク改ム
議院ニ停會ヲ命スルトキハ十五日以内トス

第四十條 政府ヨリ豫算案ヲ衆議院ニ提出シタルトキハ豫算委員ハ其ノ院ニ於テ受取リタル日ヨリ二十日以内ニ審查ヲ終リ議院ニ報告スヘシ

第四十一條 削除

第四十八條 中「三十人」トアルヲ「二十人」ト改ム

第七十八條 中「特ニ」ノ二字ヲ削リ「設ケ」ノ二字ヲ「シテ」ノ二字ニ改ム

第九十三條 中「處分ヲ求ムヘシ」ノ下「私ニ」以下十二字ヲ削ル

議長（公爵近衛篤磨君） 御發議ガナクバ次ノ日程ニ移リマス、右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○子爵本莊壽巨君 此議案モ矢張定數ニシテ議長ニ於テ選舉アラシコトヲ……

○伯爵大原重朝君 贊成
議長（公爵近衛篤磨君） 本莊子爵ノ動議ニ御異議ガナクバ其通致シマス

（異議ナシ）ト呼フ者多シ
次ハ私設鐵道條例中改正法律案衆議院提出、第一讀會、是モ通牒文ノミヲ朗讀致サセマス

（阪本書記官朗讀）
私設鐵道條例中改正法律案
右本院提出案及送付候也
明治三十年三月十五日

貴族院議長公爵近衛篤磨殿
（左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス）

明治二十年勅令第十二號私設鐵道條例中左ノ通改正ス

第六條 會社ハ其登記ノ日ヨリ六箇月以内ニ鐵道布設工事ニ著手シ免許狀ニ記載シタル豫定期限内ニ竣功スヘシ若シ其期限内ニ竣功シ難キ事由アルトキハ少クトモ二箇月以前本社所在ノ地方廳ヲ經由シテ政府ニ具申シ延期ヲ請フヘシ但シ其延期ハ豫定期限ノ半ヲ超ユルコトヲ得ス

第三十七條 會社ハ其登記ノ日ヨリ六箇月以内ニ鐵道布設工事ニ著手セス又ハ豫定期限及延期内ニ竣功セサルトキハ免許狀ノ返納ヲ命スヘシ但事

宜ニ由リ其既設ノ鐵道及附屬物件ヲ公賣ニ附シ其買受者ヲシテ之ヲ竣功セシムルコトアルヘシ

議長（公爵近衛篤磨君） 御發議ガナクバ次ノ日程ニ移リマス、右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○男爵中川興長君 本案ノ特別委員モ議長ニ於テ選定アラシコトヲ……

○三浦安君 贊成
○子爵松平忠恕君 贊成

議長（公爵近衛篤磨君） 是モ亦議長ニ委託スルコト云フ動議ニ御異議ガナク……

（異議ナシ）ト呼フ者アリ
次ニ明治二十八年法律第四號中改正法律案、衆議院提出、第一讀會、是モ通牒文ノミヲ朗讀致サセマス

（阪本書記官朗讀）
明治二十八年法律第四號中改正法律案
右本院提出案及送付候也
明治三十年三月十五日

貴族院議長公爵近衛篤磨殿
（左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス）

明治二十八年法律第四號私設鐵道株式會社ニ關スル法律中左ノ通改正ス

第二條 削除

○築作麟祥君 唯今朗讀ニナリマシタ二十八ノ法律第四號中ノ改正法律案、是ハ即チ商事ノ普通法タル商法デハ登記前ノ株式ノ讓渡ハ無効デアルト云フコトニナツテ居リマシテ例外ヲ設ケマシテ即チ私設鐵道株式會社ニ關スル法律ト云フモノハ別ニ出來テ居ル即チ是ガ二十八ノ法律第四號デゴザイマス、ツコデ其一條ニ商法ト違ヒマシテ此私設鐵道株式會社ハ一株ニ付十分一以上ノ拂込ヲ爲シタルトキハ登記ヲ受クルコトヲ得トアリマシテ二條ニ至リマシテ其前條ニ依リ登記ハ受ケテモ四分一ダケノ拂込前ノ株式ノ讓渡ハ無効デアル登記ヲシテモ四分一拂込マシテ其株式ノ讓渡ハ無効ダト、斯ウ云フ規定ヲ設ケテアル、此二條ト云フモノハ一條バカリデハ如何ニモ不取締亂雜ニナルト云フ所ノ弊害ガアリマスルニ依ツテ第二條ヲ以テ始テ四分一拂込マシテ精細デアラウト考ヘル、然ルニ今度ノ衆議院ノ案デハ二條ヲ……折角取締ヲ附ケル所ノ一條ヲ削除シテタツタ一圓カ五十錢拂込ミマシテ所謂權利株

デ私設鐵道會社ノ株式ヲ自由自在ニ賣買シテ有效ノモノトスルコト云フコトニスルト云フ趣意ト考ヘマスガ是ハ以テノ外ト思テ居リマス、併シ何ゾ已ムヲ得ザル理由ガアツテ政府ニ於テハ之ニ御同感デアリマスカ、是ハ頗ル國家ノ經濟上ニ重大ノ關係ナルコト、存ジマスカラ政府ハ之ニ御同意デア

ルヤ否ヤト云フコトヲ承ツテ置キタイ
（政府委員松本莊一郎君演壇ニ登ル）

○政府委員（松本莊一郎君） 築作サシニ御答申シマスガ唯今ノ御尋中ニ權利株ノ賣買マデモ意味シテ居ルカノ如ク此衆議院提出ノ案ヲ御見做シマシタト思ヒマスガ是ハ第一條ニ依リマシテ十分ノ一ヲ拂込シテ既ニ會社ト云フ

（左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス）
明治二十年勅令第十二號私設鐵道條例中左ノ通改正ス
第六條 會社ハ其登記ノ日ヨリ六箇月以内ニ鐵道布設工事ニ著手シ免許狀ニ記載シタル豫定期限内ニ竣功スヘシ若シ其期限内ニ竣功シ難キ事由アルトキハ少クトモ二箇月以前本社所在ノ地方廳ヲ經由シテ政府ニ具申シ延期ヲ請フヘシ但シ其延期ハ豫定期限ノ半ヲ超ユルコトヲ得ス
第三十七條 會社ハ其登記ノ日ヨリ六箇月以内ニ鐵道布設工事ニ著手セス又ハ豫定期限及延期内ニ竣功セサルトキハ免許狀ノ返納ヲ命スヘシ但事宜ニ由リ其既設ノ鐵道及附屬物件ヲ公賣ニ附シ其買受者ヲシテ之ヲ竣功セシムルコトアルヘシ

モノガ登記ヲ受ケテ成立シテ事業ニ著手スルコトガ出來ルマデノ場合ヲ指ス
ノデアリマス。カテ彼ノ世間デ申シマス權利株ト云フモノザヤナイ、即チ五
十圓ノ株券ナラ五圓ヲ拂込ミシタ後デ即チ事業ニ著手シマシタ後ノ話デア
リマス、ソレ故ニ衆議院提出者並多數デ之ヲ決シマシタノハ既ニ會社ガ成立
致シテ事業ニ著手シタ後デアリ、以上ハ其賣買ヲ有效ニ致シタ所ガ格別ノ弊
害ガナイノミナラズ却テ實際ニ於テモ賣買ガ出來ルガタメニ投機者ノ手ニ
長クサウ云フ株ノアルト云フコトノ弊ヲ幾分防クコトガ出來ルト云フ議論
ガアリマシタヤウニ承知致シテ居リマス、併シ政府ハ之ニ向ッテ同意ヲ表
スルヤ否ヤト云フ御尋デアリマシタガ、政府ノ考デハ其作サンモ仰セラレマ
シタ如ク成ルベク鐵道事業ヲ致シマス株式會社ヲ鞏固ニ致シタイト云フ考デ
アリマス。カテ矢張四分ノ一ノ拂込ヲ終リマス。マデハ普通ノ賣買ト云フコトハ
サセタクナイノデアリマス、然ルニ往々十分ノ一ノ拂込ンデ會社ハ既ニ成立
シタシタケレドモ其後四分ノ一ノ拂込ヲ爲スマデノ間ニ株式ノ拂込ヲセヌ
株主ガアリマシテ其株式ヲ處分スル場合ニ於テ公賣ニ付スルコトハ商法ニ規
定モアルヤウデアリマス。カテ付スルコトノ出來ルヤウデアリナガラ其公賣ニ
付シタモノガ矢張有效デナイト云フコトニナリマス。ト隨分差支ヲ感ズル話デ
アリマス。カテ如何ニモ尤ト考ヘマス。ノデ其場合ダケハ有效ニナルヤウニ除外
例ト云ヒマス。カテ但書デモ第二條ニ加ヘマシタナラバ實際差支ハナクナルダ
ラウ、矢張普通ノ賣買ハ有效ニセズニ此拂込ヲ怠ツタ株式ニ對スル公賣ダケヲ
有效トスルコトナラ別段政府ニ於テモ異議ハナイト云フコトヲ衆議院ニ於
テ政府委員モ述ベマシタガ、併シ衆議院ニ於テハ多數デ此通可決ニナリマシ
タ、政府ハ今申上ゲルヤウナ考デ普通ノ賣買ハ四分ノ一ノ拂込ヲ終リマス。マ
デハ唯今成立ッテ居ル第二條ノ通ノモノヲ存シテ置ク方ガ最モ會社ヲシテ安
全ナラシメルニ宜シイト、考ヘテ居リマス。

○議長(公衛近衛篤磨君) 御質問ガナクバ次ノ日程ニ移リマス、右議案ノ審
査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○男爵小澤武雄君 此案ハ前ト同一委員ニ付託致シタイト思ヒマス、同シ鐵
道ノ規則ノ改正デゴザイマス。カテ...

○子爵日野西光善君 贊成

○議長(公衛近衛篤磨君) 同一委員ト云フ說ニ御異議ガナクバ其通ニ致シマ
ス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公衛近衛篤磨君) 次ニ私設鐵道條例中改正法律案衆議院提出、第一
讀會、是モ通牒文ヲ朗讀致シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公衛近衛篤磨君) 次ニ私設鐵道條例中改正法律案衆議院提出、第一
讀會、是モ通牒文ヲ朗讀致シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公衛近衛篤磨君) 次ニ私設鐵道條例中改正法律案衆議院提出、第一
讀會、是モ通牒文ヲ朗讀致シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公衛近衛篤磨君) 次ニ私設鐵道條例中改正法律案衆議院提出、第一
讀會、是モ通牒文ヲ朗讀致シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公衛近衛篤磨君) 次ニ私設鐵道條例中改正法律案衆議院提出、第一
讀會、是モ通牒文ヲ朗讀致シマス

貴族院議事速記第二十二號

明治二十年三月十八日

右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

貴族院議長公衛近衛篤磨君

明治二十年三月十五日

衆議院議長鳩山和夫

第六條 會社ハ其登記ノ日ヨリ六箇月以內ニ鐵道布設工事ニ著手シ免狀
ニ記載シタル豫定期限以內ニ竣功スヘシ。若シ其期限内ニ竣功シ難キ事由ア
ルトキハ少クトモ二箇月以前本社所在ノ地方廳ヲ經由シテ政府ニ具申シ
延期ヲ請フヘシ。但シ其延期ハ豫定期限ノ半ヲ超ユルコトヲ得ス

第三十七條 會社ハ其登記ノ日ヨリ六箇月以內ニ鐵道布設工事ニ著手セヌ
又ハ豫定期限及延期以內ニ竣功セサルトキハ免狀ヲ返納ヲ命スヘシ。但シ
宜ニ由リ其既設ノ鐵道及附屬物件ヲ公賣ニ附シ其買受者ヲシテ之ヲ竣功
セシムルコトアルヘシ

○議長(公衛近衛篤磨君) 御質問ガナクバ次ノ日程ニ移リマス、右議案ノ審
査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○男爵小澤武雄君 此案モ前ト同一委員ニ付託サレタイ

○子爵日野西光善君 贊成

○議長(公衛近衛篤磨君) 是レ亦同一ノ委員ニ付託シタイト云フ說ニ御異議
ガナクバ其通ニ致シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公衛近衛篤磨君) 次ニ登錄稅法中刪除法律案、衆議院提出、第一讀
會、是モ通牒文ヲ朗讀致シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公衛近衛篤磨君) 次ニ登錄稅法中刪除法律案、衆議院提出、第一讀
會、是モ通牒文ヲ朗讀致シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公衛近衛篤磨君) 次ニ登錄稅法中刪除法律案、衆議院提出、第一讀
會、是モ通牒文ヲ朗讀致シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公衛近衛篤磨君) 次ニ登錄稅法中刪除法律案、衆議院提出、第一讀
會、是モ通牒文ヲ朗讀致シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公衛近衛篤磨君) 次ニ登錄稅法中刪除法律案、衆議院提出、第一讀
會、是モ通牒文ヲ朗讀致シマス

貴族院議長公衛近衛篤磨君

明治二十年三月十五日

衆議院議長鳩山和夫

反シマスカラ大體カラ申シテモ不可ナリト認メテ居リマスガ、併シサウ云フ大體ノ議論ハ立法上、租税ノ性質ニ於テ疾ク御承知ノコト、思ヒマスカラ態ト差控ヘテ申サヌデアリマシタガ差向支ヘマスノハ前申上ゲマシタ通デアリマス

○男爵小松行正君 本員モチヨット質問致シマスガ、他ニ財源ガ出來マスレバ、此方ハ衆議院デ議決致シマシタ通ニナリマシテモ御差支ナイ御見込デアリマス

○政府委員(男爵田尻稻次郎君) 唯今申上ゲタ通デアリマシテ大體ニ於テドウモ登錄ノ省クト云フコトハ不可ナリト認メテ居ル、他ニ財源ガアリマシテモ之ヲ除クト云フ理由ハアルマイト思フ

○議長(公爵近衛篤磨君) 御質問ガナクバ次ニ移リマス、右議案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉

○三浦安君 此選舉ハ議長ニ委託スル……

○何禮之君 贊成

○議長(公爵近衛篤磨君) 議長委託ニ御異議ガナクバ其通致シマス
(異議ナシ)ト呼フ者アリ
次ハ復祿及復族祿ノ請願會議、朗讀ハ省キマス

(左ノ意見書案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下倣之)

意見書案

復祿及復族祿ノ件

- 一 兵庫縣保保郡平井村平民伊藤儀三郎外十二名呈出
- 二 同縣同郡林田村平民藤井庄五郎外六十六名呈出
- 三 秋田縣秋田市手形堀反町士族澁江睦光外三十名呈出
- 四 青森縣三戸郡八戸町平民石橋德右衛門外六名呈出
- 五 德島縣德島市富田浦町平民乾駿太郎外三十三名呈出
- 六 同縣同市同町平民美馬常太郎外十八名呈出
- 七 同縣名東郡八万村平民三好常次外三名呈出
- 八 北海道札幌區南一條平民村井トシ呈出
- 九 沖繩縣首里區字當藏平民德村蒲戸外七十六名呈出
- 十 同縣同區字大中士族久志助法外五十七名呈出(一通)
- 十一 同縣同區字赤平士族嵩原安功外二名呈出
- 十二 同縣同區字山川士族阿波連本大外六百八十五名呈出
- 十三 茨城縣水戸市市士族渡邊鐵次郎外八十七名呈出
- 十四 秋田縣秋田市保戸野士族佐藤信富外七十八名呈出
- 十五 同縣雄勝郡明治村士族上法篤晃呈出
- 十六 兵庫縣保保郡龍野村平民森田桂藏外六百六十三名呈出
- 十七 岡山縣阿賀郡新見町士族田邊與平外六百六十一名呈出(二通)
- 十八 島根縣松江市雜賀士族渡部建利外五百六十六名呈出(二通)
- 十九 鳥取縣西伯郡淀江町士族山岡定次郎外六百六十名呈出
- 二十 同縣鳥取市二階町平民政山龍秀呈出

- 二十一 同縣同市川端平民黒川樹平呈出
- 二十二 同縣同市元魚町平民江住シナ呈出
- 二十三 同縣同市同町平民足立市十郎外六名呈出
- 二十四 同縣日野郡石見村平民相見壽雄外二十九名呈出
- 二十五 同縣鳥取市東町士族松田平八外百七十五名呈出
- 二十六 兵庫縣保保郡林田村平民村上彌之助外二十五名呈出
- 二十七 東京市下谷區三ノ輪町平民野見銀次郎外一名呈出

右ノ請願ハ陳述スル所ノ理由各々多少ノ差異アリト雖要スルニ第一ハ士族ニ列セラレヘキ者ナルニ廢藩ノ際故ナク民籍ニ降サレタレハ士族ニ編入シ其ノ祿ヲ復給セラレムコトヲ請願シ、第二ハ藩制改革ノ際官吏ノ錯誤ニ因リ歸農ヲ命セラレタル者ナレハ其ノ族祿ヲ復セラレムコトヲ請願シ、第三ハ藩制改革ノ際給祿十分之四ノミヲ受領セシヲ以テ更ニ其ノ不足額ノ追給ヲ請願シ、第四ハ第五、第六、第七、第八ハ共ニ士族ニ列シ家祿ヲ受クヘキ資格アル者ナルニ藩制改革ノ際故ナク其ノ族祿ヲ併セ失ヘルヲ以テ之ヲ復舊セラレムコトヲ請願シ、第九第十、第十一ハ共ニ舊琉球藩ノ慣例ニ依レハ補助役ニ轉シ若クハ渡清役ニ進ムヘキ資格ヲ有スル者ナルニ廢藩置縣ノ爲其ノ役ニ就クヲ得ス僅ニ俸役資金ノ幾分ヲ受クルノミニシテ窮困甚シキヲ以テ其ノ殘額ノ下賜ヲ請願シ、第十二ハ舊琉球藩ニ於テ才府役ノ職ニ在リシニ廢藩置縣ノ爲何等ノ恩典ヲ蒙ラス窮困甚シキヲ以テ金祿ヲ下賜セラレムコトヲ請願シ、第十三ハ維新ノ際朝憲ニ悖リ家名斷絶セシモ曩ニ大赦ノ恩典ヲ蒙リ復族セラレタレハ之ニ伴フヘキ金祿公債證書ノ下賜ヲ請願シ、第十四、第十五ハ士族ニ列シ家祿ヲ受クヘキ者ニシテ曩ニ士籍ニ編入セラレ、モ未タ祿ヲ復セラレサルヲ以テ金祿公債證書ノ下賜ヲ請願シ、第十六ハ士族ニ列シ家祿ヲ受クヘキ者ナルニ廢藩ノ際故ナク其ノ族祿ヲ併セ失ヘルヲ以テ其ノ復舊ヲ請願シ、第十七、第十八、第十九ハ曩ニ家祿ヲ奉還シタルカ爲他ノ金祿公債證書ヲ下賜セラレタル者ニ比シ拜受ノ金額大ナル差違アルヲ以テ其ノ不足額ヲ追給セラレムコトヲ請願シ、第二十、第二十一ハ曾テ藩命ニ依リ醫務ニ從事セシニ廢藩ノ際故ナク民籍ニ降サレタレハ更ニ士族ニ編入セラレムコトヲ請願シ、第二十二、第二十三ハ士族ニ列シ家祿ヲ受クヘキ者ナルニ故ナク其ノ族祿ヲ併セ失ヘルヲ以テ之ヲ復舊セラレムコトヲ請願シ、第二十四ハ舊神職ニシテ士族ニ列セラレヘキ者ナルニ藩吏ノ錯誤ニ依リ民籍ニ降サレタレハ其ノ族祿ヲ復セラレムコトヲ請願シ、第二十五ハ曾テ民籍ニ降サレシカ後士族ニ編入セラレタルヲ以テ之ニ伴フ所ノ金祿公債證書不足額ノ追給ヲ請願シ、第二十六ハ藩制改革ノ際歸農ヲ命セラレタルカ爲士族ニ列シ家祿ヲ受クルヲ得サルヲ以テ其ノ族祿ヲ復舊セラレムコトヲ請願シ、第二十七ハ舊幕府ノ先手與力ニシテ戊辰ノ際官軍ニ屬セシカ爲其ノ家祿ヲ併セ失ヘルヲ以テ之ヲ復舊セラレムコトヲ請願スルモノニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊三十通及送付候也

明治三十年二月 日

内閣總理大臣伯耆松方正義殿

貴族院議長公爵近衛篤磨

○馬屋原彰君 此復祿及復族祿ノ請願ハ即チ第一點ヨリ第二十七點ニ至ルニ十七件トモ既ニ此前會ニ於キマシテ可決ニナリマシタル特別法第一號ノ件ト略々同一ノモノデアリマス、因テ委員會ニ於キマシテモツレハ先例等モ取調ベマシテ査定致シマシタルデアリマス、是ハ意見書ノ如ク可決ニナランコトヲ希望致シマス

○男爵小松行正君 此全部ガ唯今問題ニナッテ居リマスカ此第二十ダケデゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 全部トハ何デス復祿及復族祿ト云ノハ一ツシカゴザイマセ

○男爵小松行正君 第一カラ二十七マデ全部……

○議長(公爵近衛篤磨君) 議事日程ノ第二十ト云フ所ヲ御覽ナサイ

○男爵小松行正君 ヲレダケデゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) サウデゴザイマス、御異議ガナクバ……

次ハ明治七年以後戦死者遺族弔祭料下賜ノ請願會議

意見書案

明治七年以後戦死者遺族弔祭料下賜ノ件
德島縣海部郡阿部村平民喜多條市郎外三十三名呈出
右ノ請願ハ明治七年以後戦役死歿者ノ遺族ニシテ現存スル者ハ明治二十四年法律第四號ノ恩典ニ浴スルヲ得ルト雖此法律發布前ニ於テ既ニ死歿シタル遺族ヲ慰スルコト能ハスル遺族ハ生前愛兒ヲシテ砲彈雨ノ中ニ戦歿セシメ流離艱難ノ間ニ老餘ノ歲月ヲ送り漸ク國家ニ於テ遺族恩遇ノ法備ルノ日ハ既ニ一片ノ魂魄空シク黄土ト爲リ其ノ恩典ニ浴スルヲ得ス而シテ是レ均シク君國ノ爲ニ命ヲ致シタルニ於テハ其ノ間毫末ノ差ナシ世ノ變遷ニ依リ明治二十四年法律第四號發布前死去シタル遺族ニ弔祭料ヲ下賜セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也
明治三十年二月 日

内閣總理大臣伯爵松方正義殿

貴族院議長公爵近衛篤磨

○馬屋原彰君 此請願ハ意見書ニアリマス通君國ノタメニ戦死シタル遺族デアッテ明治二十四年法律第四號ノ發布以前ニ死亡致シタル者ハ其法律ノ恩典ニ浴スルコトガ出来ナイ、依ッテ其法律發布以前ニ死亡シタル遺族ニハ弔祭料ノ下賜ヲ受ケタイト云フガ主意デアリマス、此意見書ノ如ク可決ニナラントコトヲ希望シマス

○子爵谷干城君 チョット馬屋原君ニ御尋シテ見タイト思フデスガ此戦死者ノ遺族ノコトニ就イテハ本員ハ年來心配ヲシテ居ルカラ大抵心得テ居ル積デスガ、是ハドウ云フデアリマス、明治七年佐賀ノ時分ノ役、ツレカラ引續イテ臺灣ノ役、ツレカラ神風黨ノ役、十年、ツレヨリ先ヅ近イ頃ノ二十七八年ノ役デゴザイマス、今日マデ是ハ其明治七年九年マデノ者ノ殘ッテ居ラウト云フコトハ甚ダ疑ヒガアル、明治七年ノ佐賀ノ役ナドノ時ニ

ハ其時ノ所謂當時ノ處分デ皆濟シテ居ル、詰リ其時ノ當時ノ處分デ濟シテ居リマスガ、殘ッテ居ッタ所ノ者ハ戦死者ノ父母ニナル、サウ云フヤウナ者ガ、父母ト云フモノガ恩給ヲ貰フコトガ出来ナイ、女房ハ貰フコトガ出来ルコト云フガ即チ此明治九年陸軍恩給令ト云フモノニ據ッテサウナッテ居ル、ツレ故ニ屢々建言ヲシセ、シタ餘リ近年ニ至ッテアノ通法律ニナッタ、父母モ女房同様ニ貰フコトニナルト云フコトニナッテ居ルデスガ、ツレ故ニドウモ其今日ニ至ッテ戦死者ノ遺族トシテ弔祭料ヲ願ヒ出ルト云フコトハアラウ害ハナイト思フ、ドウ云フ譯デゴザイマス、ツレヲ能ク伺ヒタイ

○馬屋原彰君 御答致シマス、丁度此意見書ニアル通明治七年以後ノ戦役死歿者ノ遺族ニシテ現存スル者ハ明治二十四年法律第四號ノ恩典ニ浴スルコトガ出来マシタ、所ガ此第四號ノ發布ノ當時即チ現存シテ居ル者ハ其法律ノ恩典ニ浴スルコトガ出来タノデゴザイマスガ不幸ニシテ所謂父母トカ妻トカ云フ者ハ既ニ居ラナクナッタ、何カ其子孫ガアル、是ハドウモハツキリ請願書ノ中ニ書イテアリマセマデ、是ハ全ク請願人其人ガ自分ノ一身ニ直接ノ關係ガナサ、ウデゴザイマス、詰リ是ハ義侠心デ斯ウ云フモノガアル、所ガ其法律ノ發布以前ニ其父母ナル者ナリ妻ナリト云フモノガ死亡シタ所ガ先ニ其戦死者ノ遺族ニハ違ヒナイガ、ドウカ斯ウ云フモノハツレダケ其法律第四號ノ精神ニハハツキリ當ラヌケレドモ、其通ニハ願ハヌケレドモ、ドウカツレニ準ジテ所謂弔祭料ノ下賜ヲ願ヒタイト云フ義侠心カラ是ハ請願シタヤウニ見エマス、本員モ少シ疑ヒガ出来マシタカラ請願書ヲ段々調ベテ見マシタガ極ク漠然タルモノデス、畢竟當人自カラ直接ニ貰ヒタイト云フノデハナイヤウデアリマス、大概此邊デ御分リニナリマシタカ

○子爵谷干城君 分リマシタ、ツレナレバ本員ハ是ハ全然反對ヲ致シマス、是ハ死シタ者ノ方……恩典ヲ側ノ者ガ相續シヤウト云フコトニナル、若シ之ガ可トセラル、ハ願フモノガ實ニ夥シイ、決シテ斯ウ云フモノニ遣ルベキモノデナイカラ是ハ全然不同意……

○馬屋原彰君 併シ今ノハチョット私ハ伺ハナカッタガ、其義侠心デ自分ガ貰ハウト云フノデナク、其所謂戦死者ノ何レ系統ニハ違ヒナイ、マルデ縁故ノナイモノガ貰フコト云フノデナイ、畢竟此委員會ニ於キマシテモ政府ニ送付スベキモノト査定致シマシタ主意ハ固ヨリ此請願人モ所謂此二十四號ノ法律ノ通ニ恩典ヲ受ケタイト云フノデナクシテ其處ヨリ餘程讓ッテ居ルケレドモ免

ニ角君國ノタメニ戦死シタルハ違ヒナイ然リヤア此法律ト云フモノハ其戦死者ノ遺族ニ恩典ヲ賜ハル法律デアルガ其時ニ死亡シタルトモ其死没者ノ遺族デアッテ誠ニ遺憾ダ、デ此精神ヲ推擴メテ父母妻子デナクテモ其死没者ノ遺族デサハアレバドウカツレニ恩波ノ一滴ヲ與ヘラレタナラバ實ニ戦死者モ地下ニ瞑目スルデアラウト云フ精神ハ請願書ニ見エルデゴザイマス、因ッテマア是ハ政府ニ送付スベキモノト斯ウ云フ風ニナリマシタ、其處ハ能ク御了解ヲ願ヒマス

(子爵谷干城君發言ヲ求ム)
○議長(公爵近衛篤磨君) 御議論ナレバ二回ノ發言ハ……
○子爵谷干城君 ソンナレバ別ニ議論ヲスルノデアリマセマデ是ハ甚ダ宜シクナイ、其理由ヲ申サウナラ幾ラモ例ガアリマスカラ申述ベマスガ……

○議長(公署近衛篤磨君) 二回ノ發言ハ規則ニ於テ許シマセヌ
○子爵谷干城君 ソレナラバ到底私等ハ是ハ同意ガ出來ナイト斷言シテ置キ
マス
○議長(公署近衛篤磨君) 然ラバ是ハ起立ニ諮ヒマス、右請願ヲ採擇スベシ
トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者 少數
○議長(公署近衛篤磨君) 少數デアリマス、此請願ハ廢棄ニナリマシタ、次
ハ地租免除ノ請願會議

意見書案
地租免除ノ件
愛知縣海西郡十四山村平民淺野常藏外六百六十七名呈出(五通)

右ノ請願ハ請願人等地方ハ明治二十九年八月九兩月間ニ於テ海嘯及數度暴風
雨ノ災ヲ受ケ耕作物ハ十數日ノ久シキ水底ニ沒シ遂ニ腐敗シテ收穫ヲ見
レ能ハス且ツ潮水浸入ノ田畑ハ其ノ訛澱ノ鹽分ヲ吸收シ數年後ニ後ニアラサ
レハ從來ノ收穫ヲ見レ能ハサラムトス之ニ加フルニ家屋ノ類破器具ノ流失
等其ノ損害莫大ニシテ備荒貯蓄法救済ノ如キハ其ノ一部タモ償フ能ハス按
スルニ地租條例第二十條第二項ニ海嘯ノ爲潮水ノ浸入セシ部分地租免除セ
ラルヘキノ規定アリ今回被害ノ土地ハ蓋シ之ニ準セラルヘキヲ信ス雖其
ノ災害タル海嘯潮水ノ浸入セシノミニアラズ連旬強雨ノ爲内部溜水ノ漲溢
セシハ非常ニシテ海嘯潮水ノ浸入セシ區域判明シ難キ苟モ浸水ノ土地ニ於
テハ悉ク其ノ被害ノ程度ヲ同フシ鹽分ヲ散亂沈澱セシメタリ故ニ此際萬一
ニモ被害地ヲ以テ條例ノ範圍外ナリト解釋セラルヘキニ於テハ更ニ明治二十
四年震災當時ノ方法ニ準シ特ニ地租ヲ免セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院
ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別
冊五通及送付候也
明治三十年二月 日

貴族院議長公署近衛篤磨

貴族院議長公署近衛篤磨

内閣總理大臣伯耆松方正義殿

○馬屋原彰君 此請願ハ即チ愛知縣下ニ於キマシテ昨年ノ秋、海嘯及數回暴
風雨ノタメニ田畑ハ潮水浸入シ加ルニ家屋其他流失物ノ損害ト云フモノガ夥
シクシテ餘程困難ヲ感ズル故ニ地租條例ニ依ルカ又ハ二十四年震災當時ノ例
規ニ依ルカシテ地租ヲ免ジテ貰ヒタイト云フ請求デアリマス、是モ大體ハ採
擇スベキモノダト云フコトニ委員會デハ査定シタモノデアリマス、ドウゾ意
見書ノ通御贊成ヲ願ヒマス

○議長(公署近衛篤磨君) 御異議ガナクバ可決ト認メマス
(「異議ナシ」ト述フル者アリ)

次ハ羽越鐵道第一期線ニ線上ゲ敷設ノ請願會議

意見書案

羽越鐵道第一期線ニ線上ケ敷設ノ件

山形縣南置賜郡窪田村平民内藤孫兵衛外二千二百三十一名呈出(二通)

新瀉縣岩船郡村上本町士族澤渡朝憲外百二十二名呈出

右ノ請願ハ政府製ニ鐵道敷設法ヲ發布シ直ニ其ノ第一期線タル奥羽線ニ著
手シ今ヤ起工進行中ナルヲ以テ數年ヲ出テスシテ奥羽ノ野ヲ通貫シ以テ日

本鐵道ニ聯絡シ爰ニ始テ東北交通ノ利便ヲ開クニ至ルヘシト雖然レトモ奥
羽北越ノ聯絡線ナキニ於テハ假令奥羽線又ハ北越線ニシテ完成スルモ未タ
鐵道ノ利便ヲ得ス抑モ奥羽ノ地ハ宏漠肥沃生産物並天然物ノ產額決シテ少
シニアラス唯之ヲ聚散利通スルノ機關ナキヲ憂フルノミ殊ニ山形地方ニ產
スル生絲米穀材木礦物等ノ如キハ北陸ニ輸送シ又ハ中央線ヲ經直下關西地
方ニ輸送スルヲ得ハ需要ノ豐富ナルハ明白ノ事實ニシテ隨テ產額ノ數又今
日ニ倍徒スルニ至ラム然ルニ該地方ヨリ北越ニ通スル道路ハ羊腸崎嶇僅カ
ニ馬車ヲ通スルニ過キス今日ノ勢他ノ迂遠ナル道路ニ由リ無益ノ時間ト多
額ノ費用トヲ糜セサルヲ得ス是レ實ニ商工業ノ爲國家ノ爲忍フ能ハサル所
ナリ今ヤ羽越線ハ層一層ノ必要ヲ加ヘ奥羽北越ヲシテ首尾相貫聯セシメ
朝有事ノ日ハ東西相呼應シテ以テ一時時機ヲ失フコトナキヲ期セサルヘカ
ラス故ニ羽越間ヲ聯絡スルノ鐵道ハ國防上ヨリスルモ交通上ヨリスルモ一
日モ忽カセニスヘカヲサル最大要線タルヲ以テ鐵道敷設法中「新瀉縣下新
發田ヨリ山形縣下米澤ニ至ル鐵道」ヲ第一期線ニ線上ケ速ニ敷設セラレタ
シトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議
院法第六十五條ニ依リ別冊三通及送付候也
明治三十年二月 日

貴族院議長公署近衛篤磨

貴族院議長公署近衛篤磨

内閣總理大臣伯耆松方正義殿

○馬屋原彰君 此請願ハ國防上ナリ交通上ナリドテカラ見マシテモ此奥羽
ト北越トノ間ノ鐵道ヲ敷設スルコト云フコトハ至ッテ急務デアアル、已ニ鐵道敷
設法ニ規定シテアル所ノ新瀉縣新發田ヨリ山形縣下米澤ニ至ルノ線路ヲ第一
期線ニ線上ケテ貰ヒタイト云フガ主意デアリマス、是モ意見書ノ通可決アラ
ンコトヲ希望致シマス

○議長(公署近衛篤磨君) 御異議ガナクバ可決ト認メマス
(「異議ナシ」ト述フル者アリ)

次ハ清國債金ノ一部ヲ普通教育基本金ニ充ツル請願會議

意見書案

清國債金ノ一部ヲ普通教育基本金ニ充ルノ件

福岡縣企救郡小倉町平民櫛木伊右衛門外七百九十六名呈出
右ノ請願ハ貴族院ハ曩ニ戰勝後ノ經營トシテ普通教育ノ普及ヲ圖リ且添ユ
ルニ國民義勇奉公ノ志ヲ表彰スルノ旨趣ヲ以テシ政府ニ向テ清國債金ノ一
部ヲ全國市町村ニ分配シ普通教育基金ニ充ルコトヲ建議セラル抑モ教育ハ
國家ノ最重要事業ニシテ國運ノ隆替一ニ其ノ普及ト否トニ由ル是ヲ以テ債金
ノ十分一ヲ割テ普通教育ノ基本ト爲スカ如キハ實ニ國家百年ノ大計ニシ
テ誰カ其ノ盛意ニ感佩セサルヤ故ニ政府ハ速ニ該建議ノ旨趣ヲ實行セラ
レタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因
テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也
明治三十年二月 日

貴族院議長公署近衛篤磨

内閣總理大臣伯耆松方正義殿

○馬屋原彰君 是ハ皆サマ御記憶ノ通第九回ノ議會ニ於キマシテ本院ヨリ建

議ニナリマシタル旨趣ヲ政府ニ於テ速ニ實行シテ貫ヒタイト云フガ此請願ノ旨趣デアリマス、是ハ政府ニ送ルベキモノト致シタルデアリマス、御賛成ヲ願ヒマス

○久保田讓君 チョット請願委員長ニ御尋申シタイ、此下ノ關……清國債金ノ一部ヲ普通教育ノ基本金ニスルト云フコトハ建議ニモ書イテアル通貴族院ハ昨年政府ニ建議ニナツタデアリマスガ、即チ其建議ノ旨趣ヲ實行シテ貫ヒタイト云フ請願デアアルガ政府デハ此事ハドウ云フコトニナリマシタカ、ドウ云フ意見ヲ持ツテ居ラル、カト云フコトヲ政府委員ニデモ一應御尋ニナリマシタカ、ドンナコトデゴザイマシタカ、チヨット……

○馬屋原彰君 別ニ此度はニ限ツテ政府ノ意向ヲ確メタト云フコトハアリマセヌガ、往々聞ク所ニ據レバ政府ニ於テモ餘程此事ニ附イテハ調ヲ附ケテ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマス、此事ニ附イテ殊更ニ政府ノ意向ヲ確メタコトハナイノデアリマス

○久保田讓君 私ハ一ツノ希望ヲ請願委員長ニ申述ベテ置キマスガ、此事ハ教育社會ニ於テハ非常ニ熱望シテ居リマススカラ政府ハドウ云フコトニ議ヲ極メテ居ラル、カ其議ヲ知リタイ、即チ貴族院規則デアリマシタカ議院法デアリマシタカ請願書ニ附イテ政府ノ議ハ如何デアアルカト云フコトヲ尋ネル途ガアルノデアリマス、其箇所ハ覺エマセヌガドウカ請願委員長ニ於テソレダケノ手續ヲシテ政府ノ意向ハ如何ナル所ニ在ルカト云フコトヲ聞カレルヤウニ希望致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 本案ハ可決ト認メテ宜シウゴザイマスカ
(「異議ナシ」ト述フル者アリ)
次ハ古社寺保存ノ請願會議

意見書案

古社寺保存ノ件

京都市參事會京都府知事男爵山田信道呈出

右ノ請願ハ本邦ノ美術工藝ハ萬國ニ冠絶スル一種ノ特色殊質ヲ具有シ其ノ靈妙ヲ極ムルモノニ至テハ遠ク希臘羅馬ノ全盛期ニ於ケルモノヲ凌駕シ國光ノ發揚ニ資スルヤ實ニ大ナリトス蓋シ其ノ發達ハ神佛二道ニ密接ノ關係ヲ有シ現今古社寺ニ傳來スル建築ノ莊嚴ナル神影佛像ノ非凡ナル書畫彫刻其ノ他什器ノ優秀ナルニ徴シテ明ナリ是等ノ技術ハ皆後進ノ模範トナリ益々國光ヲ發輝スヘキ國寶ナレハ古社寺ハ實ニ國寶ノ倉庫ト謂フヘシ而シテ京都ハ古社寺ノ淵藪ナルヲ以テ市民ハ夙ニ保存會ヲ設ケ之ヲ維持スル講シ或ハ市費ヲ投シテ其ノ廢壞ヲ救フ等頗ル力ヲ保存ニ盡シ政府ニ於テモ保存ノ爲補助費ヲ支出シ又其ノ保存ノ方法順序等ヲ定メラル、モ如何セム維新已來社寺ノ經濟困弊シ自カラ火災盜難腐朽敗殘ヲ免レズ終ニ國家ノ重寶ヲ喪亡スルニ至ラムトス故ニ今及テ更ニ嚴密ナル保存ノ規律ヲ制定シ大ニ國庫ヲ開テ年々一定ノ費用ヲ補給セラレ以テ國寶保存ノ實ヲ擧ケ益々國光ヲ發輝シ國力ヲ増進セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十年二月 日

內閣總理大臣伯爵松方正義殿

貴族院議長公爵近衛篤磨

○馬屋原彰君 是ハ今般政府カラ提出ニナリマシタル古社寺保存法ニ牽連シタモノデアツテ即チ古社寺保存ノ請願デアリマスル、是モ意見書ノ通決議アラシコトヲ希望致シマス

○男爵小松行正君 馬屋原君ニチヨット質問ヲ致シマスガ、モウ是ハ衆議院デモ可決ニナリマシテゴザイマスルカラ政府ニ送ルニハ及バヌト考ヘマスガ如何デゴザイマスカ

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナクバ可決ト認メマス
(「異議ナシ」ト述フル者アリ)
次ハ拂下米下附ノ請願會議

意見書案

拂下米下附ノ件

右ノ請願ハ明治四年八月舊前橋縣松山支廳ヨリ藏米六百俵拂下ノ許可ヲ得即時代金ヲ皆納シ米穀登熟ノ期ヲ俟チ居リシニ當時同町内田久藏ナル者ニ財物ヲ騙取セラレ之ヲ告訴セシ爲原被共ニ假拘留トナリタルノ結果右事件ハ仲裁以後ノ告訴ニ係ル云々ノ故ヲ以テ被告ハ放免セラレシモ請願人ハ却テ準流十年ニ處セラレ明治十六年九月ニ至リ漸ク出獄シタリ而シテ入獄中岩鼻監獄署典獄ニ對シ拂下米受取方ニ付屢々嘆願セシモ本件ノ如キハ出獄ノ日ヲ待ツヘシトテ採用セラレズ爾來殆ント十二箇年家族親戚ニモ面接通信ノ自由ヲ得サルヨリ不得止其ノ儘ニ經過シ出獄後當時ノ關係者ニ向ヒ其ノ手續ヲ盡シタルモ今ニ其ノ事ヲ果タサス故ニ事情ヲ審査セラレ右藏米ノ下附ヲ得タシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十年二月 日

內閣總理大臣伯爵松方正義殿

貴族院議長公爵近衛篤磨

○馬屋原彰君 此請願ハ意見書ニモ記載シテアリマスル通明治四年頃舊前橋縣ノ支廳カラ拂下米ノ許可ヲ得タ、サウシテツコニ代價ヲ上納シタ所ガ請願人ハ當時犯罪ノタメニ入獄ヲ致シタニ依ツテ此入獄ノタメニ受取ルコトガ出來ナカッタ、所デ十六年ニ至リマシテ出獄シタ故ニ前ノ手續ヲ追フテ更ニ其手續ヲ盡シテ見タガ今尙ホ其事ヲ果サズ、ソレデドウカ其事情ヲ詮議シテ貰フテ此藏米ノ下付ヲ受ケタイト云フ旨趣デアリマス、是モ意見書ノ通御贊成ヲ願ヒタイ

意見書案

不正肥料販賣取締ニ關スル法規制定ノ件

右ノ請願ハ農ハ國ノ大本ニシテ其ノ盛衰ハ實ニ國家經濟ニ關係スルヤナリ殊ニ本邦今日ノ情勢ハ限リアル耕地ヲ以テ限リナキノ需要ニ應スルノ收

